

2019年7月25日

経済レポート

中部のインバウンド消費(2019年1-3月期)

～訪日外客数、消費額ともに増加～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

- 日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年1-3月期2次速報）」をもとに、地域別訪日外国人数、インバウンド消費額を推計した。
- 2019年1-3月期に中部5県を訪れた外国人数は前年比+18.2%の95万人と推計され、5四半期ぶりに増加した。
- 同期の中部でのインバウンド消費額は前年比+5.8%の536億円と推計され、4四半期ぶりに増加した。
- 同期の中部での一人あたり消費額（消費単価）は、5.6万円と推計される。

		2019年1-3月期	
			(前年比)
中部	訪日外国人	95万人	+18.2%
	インバウンド消費額	536億円	+5.8%
	一人あたり消費額	5.6万円	-10.5%
日本全国	訪日外国人	805万人	+5.7%
	インバウンド消費額	1兆1,517億円	+3.6%
	一人あたり消費額	14.3万円	-2.0%

(注1) 中部はMURCの推計値、全国は政府観光局、観光庁の公表値

(注2) 全国の19年4-6月期の訪日外国人数は805万人(前年比+5.8%)、インバウンド消費額は1兆2,810億円(同+13.0%)(訪日外国人消費動向調査19年4-6月期:1次速報)。

同期の地域別結果推計のための基礎データは、19年10月の2次速報で公表となる予定。

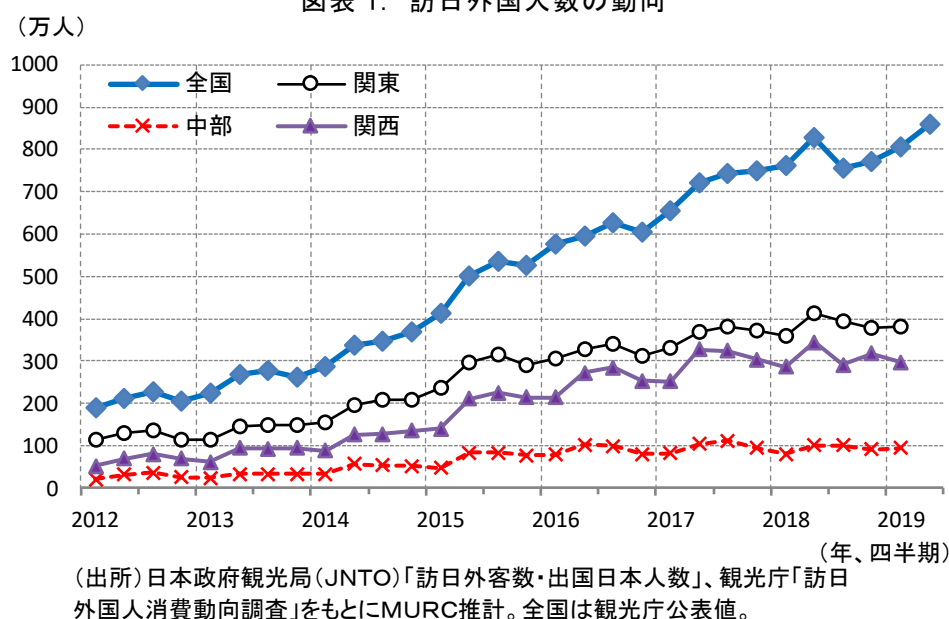
1. 2019年1-3月期の中部のインバウンド消費（四半期の動き）

（1）訪日外国人数の動向

中部5県（愛知、岐阜、三重、静岡、福井）を訪れる外国人の数は、2018年は減少傾向が続いていたが、2019年に入り増加に転じた。日本政府観光局公表の訪日外客数（2019年1-3月期：805万人）に、観光庁「訪日外国人消費状況調査」の地域別訪問率を乗じて地域別の訪日外国人数を算出すると、19年1-3月期に中部を訪れた外国人数は95万人（前年比+18.2%）と推計され、5四半期ぶりに増加した。

同期に中部を訪問した外国人数を県別に見ると、愛知県62.1万人、岐阜府25.7万人、三重県5.2万人、静岡県33.9万人、福井県1.7万人と推計される。

図表1. 訪日外国人数の動向



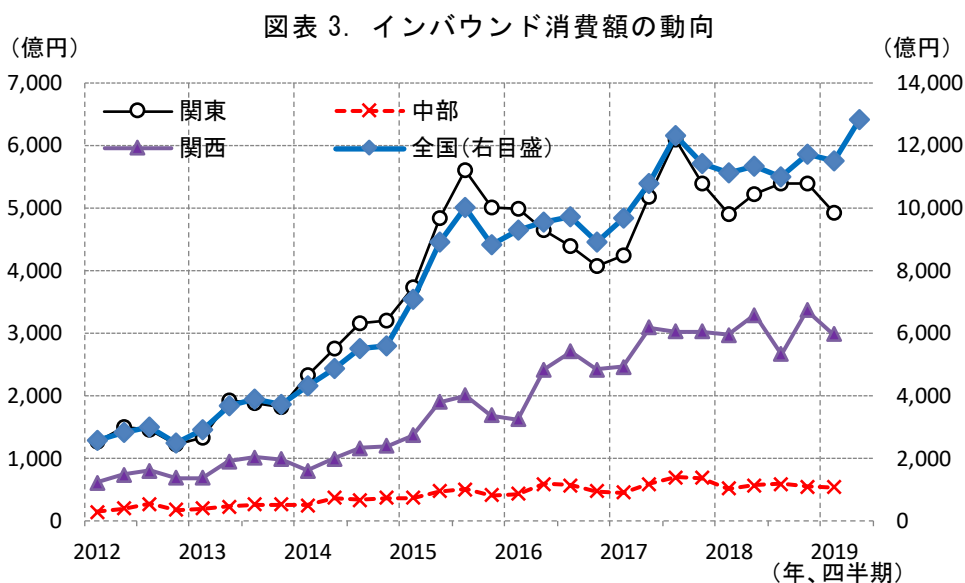
図表2. 訪日外国人数の動向（県別）

(単位)	2018年								2019年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)	実数 (万人)	前年比 (%)
愛知県	52.7	-5.4	62.6	-3.6	69.8	-6.5	59.9	-0.1	62.1	17.8
岐阜県	20.6	30.4	24.2	-4.3	15.5	18.8	20.6	19.4	25.7	24.8
三重県	3.7	-7.5	5.4	18.3	5.0	-0.8	5.3	41.7	5.2	40.1
東海3県※		2.0		-2.8		-2.7		5.9		20.7
静岡県	24.7	-12.2	35.1	5.5	40.4	-3.4	30.8	-2.1	33.9	37.3
福井県	0.9	-45.6	1.6	52.8	1.4	13.7	1.5	95.0	1.7	77.2
中部5県	80	-2.5	101	-2.7	101	-9.1	91	-3.5	95	18.2
富山県	3.6	14.1	15.2	6.2	6.1	37.0	8.1	-2.0	4.0	12.0
石川県	12.1	13.0	17.7	-19.2	13.5	26.5	15.3	27.2	12.8	5.7
長野県	23.4	-8.4	25.0	4.6	15.6	25.3	19.5	4.1	27.9	19.5
滋賀県	4.6	35.8	5.9	-28.6	4.7	71.8	5.4	45.3	4.9	6.7
昇龍道9県※		-0.9		-4.3		-0.4		1.6		16.6
関東地区	360	8.4	412	11.1	395	3.3	378	1.6	383	6.4
関西地区	287	13.9	344	5.4	292	-10.0	317	4.3	298	3.6
全国	762	16.5	828	14.7	757	1.8	772	3.1	805	5.7

（注）東海3県、昇龍道9県の前年比は各県の延べ人数の単純合計値をもとに算出。

(2) インバウンド消費額の動向

地域別のインバウンド消費額は、前節で求めた地域別訪日外国人数と「訪日外国人消費動向調査」にある地域別消費単価（旅行中支出）をもとに推計した¹。2019年1-3月期の中部のインバウンド消費額は前年比+5.8%の536億円と推計され、4四半期ぶりに増加した。県別では、愛知県347.3億円、岐阜県65.7億円、三重県21.4億円、静岡県96.2億円、福井県5.1億円と推計される。



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

図表 4. インバウンド消費額の動向（県別）

(単位)	2018年								2019年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)	実数 (億円)	前年比 (%)
愛知県	339.5	13.9	380.6	-4.2	407.0	-10.2	365.5	-27.0	347.3	2.3
岐阜県	75.7	58.3	54.9	28.4	43.3	13.8	53.5	19.9	65.7	-13.1
三重県	12.8	74.9	23.3	33.6	23.1	-29.8	26.3	138.7	21.4	66.5
東海3県	428	21.1	459	0.3	473	-9.7	445	-19.9	434	1.5
静岡県	74.6	-4.1	101.2	-18.5	100.1	-35.3	90.8	-23.5	96.2	28.9
福井県	3.9	-63.2	7.1	202.3	8.9	22.6	6.5	101.5	5.1	31.9
中部5県	506	14.7	567	-2.9	582	-15.1	543	-20.0	536	5.8
富山県	8.2	34.9	24.2	-2.0	16.0	11.2	24.2	21.2	7.4	-9.0
石川県	45.0	6.8	41.5	-27.1	38.5	-11.7	54.0	56.4	37.9	-15.7
長野県	210.4	-17.7	67.0	36.6	62.4	5.0	58.4	-14.4	243.1	15.6
滋賀県	16.3	288.9	27.8	94.5	15.2	26.9	22.8	188.2	17.3	5.9
昇龍道9県	786	4.9	728	-0.2	715	-12.4	702	-13.2	841	7.0
関東地区	4,890	15.3	5,226	1.1	5,393	-11.5	5,395	0.0	4,912	0.5
関西地区	2,967	20.9	3,292	6.8	2,658	-12.1	3,362	11.2	2,975	0.3
全国	11,121	14.9	11,333	5.2	11,005	-10.6	11,730	2.9	11,517	3.6

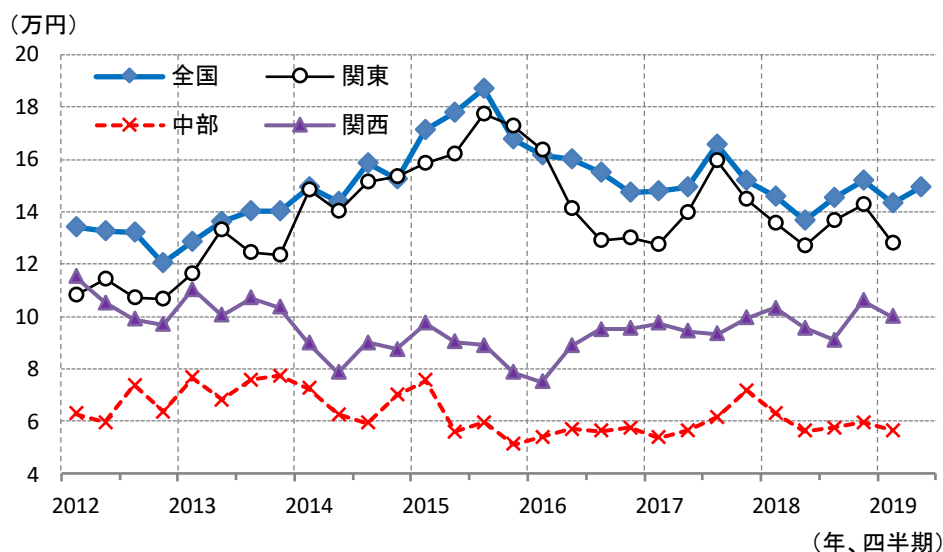
(注) 2018年より調査方法を変更したため、2018年中の「前年比」は参考値。

¹ 推計方法の詳細は文末記載の参考文献の補論を参照。

(3) 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）²については、19年1-3月期の中郡は5.6万円（前年比-10.5%）と推計される。県別では、愛知県5.6万円、岐阜府2.6万円、三重県4.1万円、静岡県2.8万円、福井県3.0万円となった。

図表 5. 一人あたりインバウンド消費額の動向



（出所）日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。

図表 6. 一人あたりインバウンド消費額の動向（県別）

(単位)	2018年								2019年	
	1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期		1-3月期	
	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)	実数 (万円)	前年比 (%)
愛知県	6.4	20.4	6.1	-0.6	5.8	-3.9	6.1	-26.9	5.6	-13.2
岐阜県	3.7	21.3	2.3	34.2	2.8	-4.2	2.6	0.4	2.6	-30.4
三重県	3.5	89.2	4.3	13.0	4.6	-29.2	4.9	68.5	4.1	18.8
東海3県※		18.8		3.1		-7.2		-24.4		-15.9
静岡県	3.0	9.2	2.9	-22.7	2.5	-33.1	2.9	-21.9	2.8	-6.1
福井県	4.1	-32.3	4.5	97.9	6.5	7.8	4.4	3.4	3.0	-25.6
中部5県	6.3	17.6	5.6	-0.3	5.7	-6.7	6.0	-17.1	5.6	-10.5
富山県	2.3	18.3	1.6	-7.7	2.6	-18.8	3.0	23.7	1.8	-18.7
石川県	3.7	-5.5	2.3	-9.7	2.9	-30.2	3.5	22.9	3.0	-20.2
長野県	9.0	-10.1	2.7	30.6	4.0	-16.2	3.0	-17.7	8.7	-3.3
滋賀県	3.6	186.3	4.7	172.4	3.3	-26.2	4.2	98.3	3.5	-0.7
昇龍道9県※		5.9		4.3		-12.1		-14.6		-8.2
関東地区	13.6	6.3	12.7	-9.0	13.7	-14.4	14.3	-1.6	12.8	-5.5
関西地区	10.3	6.1	9.6	1.3	9.1	-2.4	10.6	6.6	10.0	-3.3
全国	14.6	-1.4	13.7	-8.3	14.5	-12.1	15.2	-0.2	14.3	-2.0

（注）2018年より調査方法を変更したため、2018年中の「前年比」は参考値。

東海3県、昇龍道9県の前年比はインバウンド消費額を当該地域内の各県の延べ人数の単純合計値で割った値をもとに算出。

² 地域別消費単価はパッケージツアーに含まれる国内収入分、クルーズ客分を加味したMURCの推計値であり、観光庁「外国人消費動向調査」の消費単価とは異なる。

(参考文献)

- ・藤田隼平、塚田裕昭、杉本宗之（2015）「中部地域におけるインバウンド消費の現状と今後の見通し」三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査レポート

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。